

## 現象学的研究方法論

【担当者名】細野知子（非） [ t-hosono@redcross.ac.jp ]

### 【概要】

看護研究において、現象学的な思考法が求められる根拠、およびこの思考法が研究プロセスでいかに実施され、看護の知として何をもたらすのかを考察する。

そのため、哲学である「現象学」の歴史的な位置づけと基本的な思想を理解するとともに、「現象学」の他学問への波及を概観して、その仕事の特徴を検討する。そのうえで、看護学での現象学的研究について動向を概観し、具体的な研究例を通じて、研究に求められる現象学的な態度と研究のプロセスを理解し、看護学において「現象学」がなしている仕事について考える。

### 【学修目標】

1. 現象学的研究の思想の枠組み、及び求められる態度を理解できる。
2. 現象学的研究の例をもとに、具体的な研究方法と研究成果の読み方を学ぶ。
3. 質的研究における現象学的研究の特徴について説明することができる。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	現象学と現象学的研究	・現象学の基本的な考え方と歴史的な位置づけを学ぶ。 ・哲学である現象学が他の学問分野で現象学的研究として用いられ、それが成し遂げている仕事を学ぶ。	細野
3 ) 4	現象学的看護研究の実際 動向 研究計画（研究疑問・文献検討・研究方法論）	・看護学における現象学的研究の動向を学ぶ。 ・現象学的看護研究の計画の実際（研究疑問から研究デザイン）を学ぶ。	細野
5 ) 6	現象学看護研究の実際 研究遂行（データ収集・データ分析・記述・考察） 研究成果の公表・看護学の知への	・現象学的看護研究の遂行の実際（データ収集、データ分析、結果の記述、考察）を学ぶ。 ・現象学的看護研究成果の公表の実際、看護学の知における位置づけを学び、活用可能性を考える。	細野
7 ) 8	現象学的研究の具体例	・現象学的研究において、現象学がどのように導入あるいは参照されているのかを、類似のテーマで他の質的研究方法を採用している研究との比較を通じて検討する。	細野

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

議論への参加（60％）と課題レポート（40％）で評価する。

### 【教科書】

松葉祥一・西村ユミ編、『現象学的看護研究』、医学書院、2014年  
その他、適時コピーを配布する。

### 【参考書】

1. メルロ=ポンティ、『知覚の現象学1』、みすず書房、1967年
  2. メルロ=ポンティ、『知覚の現象学2』みすず書房、1974年
  3. 村上靖彦、『現象学的質的研究入門 一人ひとりに固有の経験と向きあうために』、ナカニシヤ出版、2025年
  4. 榎原哲也、『医療ケアを問いなおす 患者をトータルにみることの現象学』、ちくま書房、2018年
  5. ベナーノルーベル、『現象学的人間論と看護』、医学書院、1999年
  6. 細野知子、『病いと暮らす 二型糖尿病である人の経験』、新曜社、2023年
  7. 前田泰樹・西村ユミ、『急性期病院のエスノグラフィー』、新曜社、2020年
- その他、適宜紹介する。

**【学修の準備】**

テキストの第3部、第1～3章を事前に読んでおく。

課題レポートとして、現象学的研究に関する論文を1編読み、その論文において現象学的研究が必要とされた理由を論じること。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

<看護学専攻>

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという看護学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

<臨床福祉学専攻>

本科目の内容は、深い学識と高度な実践力、指導的役割の発揮力を修得するという臨床福祉学専攻博士後期（博士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。